

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅰ	c		17101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

乳幼児教育に関する様々な理論の学習や教育実習他の経験を活かし、自分が興味関心をもったことについて、新たな知識と確かな情報を得る。適切な先行文献を選定することを通して、要約し考察する力と、記録する力、伝える力などの表現力を高める。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

課題文献・資料を講読し、発表する。ディスカッションを経て新たな課題を見出す。考察力や伝える力、記録する力を高める一つの方法として、栽培活動や教材制作を行い、ドキュメンテーションを作成し、学習成果を検証する。そして、自分の研究したい内容や方向性に見通しをもつようにする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 自然体験に関する課題文献・資料の講読
- 3 文化体験に関する課題文献・資料の講読
- 4 ドキュメンテーションとポートフォリオ、ラーニング・ストーリーについて
- 5 特別支援教育に関する課題文献・資料の講読
- 6 防災教育に関する課題文献・資料の講読
- 7 認定こども園、小規模保育所に関する課題文献・資料の講読
- 8 食育に関する課題文献・資料の講読
- 9 乳幼児教育におけるESDとSDGs
- 10 課題の調査と発表①
- 11 課題の調査と発表②
- 12 課題の調査と発表③
- 13 課題の調査と発表④
- 14 文献検索の方法と実際について
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義とディスカッションを中心とする。学生が作成した資料にもとづく発表、ディスカッションを通して、多面的な理解や気づき、新たな課題を得られるようにする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題レポートやリフレクションシート他の提出を毎回求め、授業内にフィードバックを行う。
- ②平常点70％、定期試験30％

欠席について

欠席1回につき5点の減点、遅刻1回につき2点の減点とする。

テキスト

必要に応じて提示、紹介する。

参考図書

必要に応じて提示、紹介する。

留意事項

自ら進んで課題研究に取り組み、提出物の期限を守ること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅰ	d		17101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、問題意識を持って具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

授業の概要

様々な心理臨床領域における心理学論文の研究論文を文献講読する。学生が各自、関連する文献を収集・要約・発表し、その研究方法や課題について話し合う中で、各自の卒業研究のテーマを見出す機会を設ける。要約文は各自毎回提出とする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 全員で共通の文献講読1
- 3 全員で共通の文献講読2
- 4 全員で共通の文献講読3
- 5 共同研究のためのリサーチの準備
- 6 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 7 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 8 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 9 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 10 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 11 リサーチ・結果をまとめて各自で発表原稿を作成
- 12 共同研究の発表の準備
- 13 共同研究の発表の準備
- 14 共同研究の発表の準備
- 15 全体の振り返りと、個人のテーマの評価

授業の方法

教材とする研究論文を熟読することで、研究論文のスタイルについて学ぶ。また、自分の関心のあるテーマや研究法を探しながら、要約文を作成し、発表することで、論文作成に必要な姿勢を身に付ける。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

共同研究への取り組みと課題の提出状況を評価する。

欠席について

一回の欠席につき5点、遅刻は2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

テキスト

適宜紹介する。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

課題は毎回の授業で提出とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	c		17105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

演習Ⅰを通して、要約作成の基本を習得する。また、各自の研究したい内容や方向性に基づいて、関連する文献や資料を収集し、研究テーマを設定する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

各自が研究したい内容について、文献や資料を検索したり実習の記録をもとに調査を進めたりする。さらに、発表・討議を通して研究テーマを設定し、具体的な研究計画を立て、演習Ⅲへの見通しをもつ。

授業計画

- 1 演習Ⅱの進め方について
- 2 質問紙法について
- 3 非構造的面接法について
- 4 概念抽出までの手続き
- 5 研究活動における倫理
- 6 実地研修①
- 7 実地研修②
- 8 実地研修③
- 9 先行文献から学ぶ
- 10 研究マップ発表
- 11 仮研究テーマでのブレ研究発表①
- 12 仮研究テーマでのブレ研究発表②
- 13 仮研究テーマでのブレ研究発表③
- 14 研究計画、研究方法の検討
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

伝えやすく、わかりやすい資料を作成し、パワーポイントを用いて毎回発表の機会をもつ。ディスカッションにより、根拠や理由、原因や課題などを見出すようにし、互いの発表内容を高めていくようにする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う。
- ②平常点70％、定期試験30％

欠席について

欠席1回につき5点の減点、遅刻1回につき2点の減点とする。

テキスト

必要に応じて提示、紹介する。

参考図書

一般社団法人日本保育学会倫理綱領ガイドブック編集委員会『保育学研究倫理ガイドブック』、文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

留意事項

提出物は設定された期限までに提出すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	d		17105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

授業の概要

卒業研究の作成に向けての文献の収集・要約・調査などを行う。自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、共同研究を通じて必要な研究法・手続きについて学び、最後に自分の研究テーマと研究計画の設定を試みる。要約文は毎回提出とする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 共同研究発表の準備
- 3 共同研究発表の準備
- 4 共同研究発表の準備・反省会
- 5 各自のリサーチ発表1
- 6 各自のリサーチ発表2
- 7 各自のリサーチ発表3
- 8 研究法・手続きについての話し合い1
- 9 研究法・手続きについての話し合い2
- 10 各自のリサーチ発表4
- 11 各自のリサーチ発表5
- 12 各自の研究計画の立案と発表4
- 13 各自の研究計画の立案と発表5
- 14 卒業研究発表・質疑応答の練習
- 15 まとめ

授業の方法

共同研究の発表後、各自で論文のリサーチ・要約・発表を実施し、論文作成に必要な研究法や手続き、調査を実際に体験する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

共同研究への取り組みの状況と、毎回の提出課題を評価の対象とする。

欠席について

欠席は1回につき5点、遅刻は2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

テキスト

受講生の提出する論文の要約文を元に文献講読を実施するため、テキストはその都度適宜紹介することとする。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

課題は毎週提出とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

演習Ⅱで見出した研究テーマと研究計画に基づき、具体的な調査を通して研究テーマに迫る。そのため、的確なデータの収集と分析を行い考察を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、E（倫理）を養う。

授業の概要

研究計画に沿って、先行文献調査と実地調査の両方を実施する。また、現場での適切な調査方法や分析方法について解説し、各自の調査を指導・支援する。調査結果についての発表や討議を踏まえ、今後の研究の見通しをもつようにする。

授業計画

- 1 演習Ⅲの進め方について
- 2 卒業研究・論文のまとめ方について
- 3 研究対象と調査期間について
- 4 研究方法と分析方法について
- 5 調査の進捗報告と討議①
- 6 調査の進捗報告と討議②
- 7 各自の先行文献調査のまとめ①
- 8 各自の先行文献調査のまとめ②
- 9 「問題と目的」の発表・討議①
- 10 「問題と目的」の発表・討議②
- 11 「研究方法」の発表・討議①
- 12 「研究方法」の発表・討議②
- 13 仮説と今後の見通しについて発表・調整①
- 14 仮説と今後の見通しについて発表・調整②
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

各自の報告内容が授業の根幹となる。全体討議では積極的に自己の発表や他者への助言を行い学び合う姿勢を重視する。互いに研究推進へのよい刺激を受け、研究意欲と研究内容を高め合うようにする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う。
- ②平常点70％、定期試験30％

欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

各自で研究推進への確かな目標をもち、質的・量的調査について計画的に進めること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

授業の概要

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究法や分析の方法についても復習する。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 リサーチ1・発表・ディスカッション1
- 3 リサーチ2
- 4 リサーチ3
- 5 リサーチ4
- 6 各自の研究の問題と目的について設定・発表
- 7 各自の研究の研究法、調査、手続きについて進行報告、ディスカッション1
- 8 進行報告2
- 9 進行報告3
- 10 調査報告1
- 11 調査報告2
- 12 調査報告3
- 13 結果のまとめ方について1
- 14 結果のまとめ方について2
- 15 結果のまとめ方について3

授業の方法

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究法や分析の方法についても復習する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

毎週の課題の提出状況と演習への参加状況を評価の対象とする。

欠席について

欠席1回につき5点、遅刻1回につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

テキスト

各受講生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

課題の提出は毎週とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	b		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	必修	2				

授業の到達目標

自分のこだわり・気がかりを大切にテーマを決める。そのテーマによって研究を続けながら文章表現の力をつける。それらの成果を卒業研究としてまとめる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）A（自律）を育成する。

授業の概要

個々のテーマに即してディスカッションを多く採り入れて指導する。さらに、正確な情報を選択、採用する資質能力を養い卒業研究を完成させる。

授業計画

- 1 卒業研究の概略説明
- 2 卒業研究の計画、作成の確認
- 3 卒業研究の報告と討議 1
- 4 卒業研究の報告と討議 2
- 5 卒業研究の報告と討議 3
- 6 卒業研究の報告と討議 4
- 7 卒業研究の報告と討議 5
- 8 卒業研究の報告と討議 6
- 9 卒業研究の報告と討議 7
- 10 卒業研究の報告と討議 8
- 11 卒業研究の報告と討議 9
- 12 論文推敲 1
- 13 論文推敲 2
- 14 最終報告と討議
- 15 まとめ

授業の方法

学生同士で論文の方向性や課題を発表し合い、コミュニケーション能力を高める手立てとする。

準備学修

選考文献を多く収集し、熟読すること

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

学内規定に準ずる

テキスト

個々に応じて指示する

参考図書

個々に応じて推薦する

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

演習Ⅲに引き続き、具体的な調査結果に基づき考察を繰り返し、卒業研究としてまとめる。様々な視点から研究を見直すことや見解の違いを受け入れ、改善に向けて努力する。そして、自己の研究内容を高めるようにする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）I（知性）E（倫理）を養う。

授業の概要

各自の調査における分析結果を発表・討議する。他者の考え方や見方、分析結果の読み取り方に触れることで、客観性をもたせ、考察をより深めるようにする。

授業計画

- 1 分析結果報告・仮説の検証①
- 2 分析結果報告・仮説の検証②
- 3 分析結果と考察①
- 4 分析結果と考察②
- 5 分析結果と考察③
- 6 分析結果と考察④
- 7 分析結果と考察⑤
- 8 研究のまとめと総合考察①
- 9 研究のまとめと総合考察②
- 10 今後の課題について
- 11 分析結果一覧表の作成
- 12 卒業研究の校正①
- 13 卒業研究の校正②
- 14 最終発表と調整
- 15 まとめ

授業の方法

各自の調査結果の報告とその読み取りに関して、個人やグループでの発表・討議を通して考察を深める。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う。

②平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点する。

テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

口頭試問まで主体的に取り組み、研究に対する意欲と責任感を持ち続けること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育			17513	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 正実	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKSAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育の教材内容に繋がる実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

授業計画

- 1 オリエンテーション。自己紹介。運動学習について概略を講義する。
- 2 体づくり運動系 体ほぐしの運動の実技をする。
- 3 体づくり運動系 体の動きを高める運動の実技をする。
- 4 陸上運動系 かけっこの実技をする。
- 5 陸上運動系 障害走の実技をする。
- 6 陸上運動系 リレーの実技をする。
- 7 器械運動系 マット運動の実技をする。
- 8 器械運動系 跳び箱の実技をする。
- 9 器械運動系 マット・跳び箱運動の実技をする。
- 10 ボール運動系 ゲーム「鬼遊び」等のゲームをする。
- 11 ボール運動系 ベースボール型のゲームをする。
- 12 ボール運動系 ネット型のゲームをする。
- 13 ボール運動系 ゴール型のゲームをする。
- 14 ボール運動系 ゴール型のゲームをする。
- 15 学習のまとめ。体育学習の工夫等について講義する。

授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、運動の方法や工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇」を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行う。

課題・評価方法、その他

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

テキスト

使用しない

参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇
平成23年度版、令和2年度版神戸市小学校体育指導のてびき

留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと健康			17514	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

- （1）乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する
 - （2）乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する
 - （3）安全な生活と怪我や病気の予防を理解する
 - （4）乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する
- 以上の4点について理解し、保育指導力（立案・実施・評価・改善）につながる力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）K（思いやり）を養う。

授業の概要

健康の定義、乳幼児期の健康の意義について詳説する。また、安全教育や怪我・事故については日頃の報道内容に注目し、ICTを活用したり協働学習での発表やディスカッションを行ったりしてPBL（課題解決型）学習を行う。そして、運動を遊びや日常生活に取り入れる保育実践から領域「健康」の内容を理解し、領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付ける。

授業計画

- 1 健康の定義と乳幼児の健康
- 2 乳幼児期の心身の発達とその特徴
- 3 乳幼児期の生活習慣の形成とその意義
- 4 乳幼児期の安全教育とリスク・ハザード
- 5 乳幼児期の怪我や事故の特徴と応急処置・病気の予防
- 6 乳幼児期の運動発達とその特徴
- 7 乳幼児期の日常生活と集団生活における運動遊び
- 8 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

参考資料を配布する。運動遊びの指導案の分析や協働学習と発表を取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50％、定期試験50％

欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点減点

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

参考図書

適宜紹介する

留意事項

日頃から自分の心と体の健康維持に留意し、保育者として子どもに明るく元気な姿で毎日接することができるように努める。また、乳幼児期の体や運動、事故に関する情報に着目し、その特徴を捉えるようにすること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容総論			17555	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨花	選択	1				

授業の到達目標

幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解し、多様な保育者像、環境、考え方と出逢うことによって、自分なりの保育者像・環境イメージを持てるようになる。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示されている内容について十分に理解するとともに、教育・保育の歴史の変遷や現在の取り巻く状況を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

幼稚園・保育所等就学前教育における子ども理解、保育の計画、環境の構成、援助の実践について知識や理解を深め、保育者として保育を構想する力や実践力を身につける。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解し、幼児教育の基本や環境を通して行う教育を踏まえて、5領域の保育内容の考え方及び指導方法についての基本的事項を習得する。

授業計画

- オリエンテーション:幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園等について
- 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の理解
- 保育内容の歴史の変遷
- 子どもの発達の特性(個と集団の育ちを支える保育)
- 幼児教育の目指すもの(環境を通して行う保育・教育)
- 現代の保育の課題(養護と教育が一体的に展開する保育)
- 保育の内容と指導計画
- 遊びを体験する(1)手遊び(教材収集)
- 遊びを体験する(2)作ったもので遊ぶ(教材研究)
- 遊びを体験する(3)手遊びと製作(グループ発表)
- 保育内容の展開(1)小学校との接続を踏まえた保育
- 保育内容の展開(2)家庭や地域との連携をふまえた保育
- 保育内容の展開(3)子育て支援、保育の多様な展開
- 保育内容の展開(4)特別な支援を必要とする子どもの保育
- まとめ:保育・教育を取り巻く現状と課題や今後の展望

授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題の提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70% 定期試験30%で評価する。

欠席について

学内規定に準ずる。

テキスト

適宜配布する。

参考図書

「幼稚園教育要領解説」（文部科学省）「保育所保育指針解説」（厚生労働省）「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・表現（造形表現）			17601	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

乳幼児の造形表現遊びを指導するための理論と保育実践例を学び、自らの表現力を高める。教材や用具の扱い方の基礎基本を理解し環境を構成する力や作品を読み取る力、保育指導案を立案し実践する力を身に付ける。KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

造形表現における乳幼児の発達や特徴について詳述する。造形表現で扱う材料用具の基礎基本事項と技法について演習を行い、鑑賞活動を通して感性をより高める。教材研究を継続して行い、保育指導案作成のポイントを学び、実践力を身に付ける。造形表現に使う材料を自ら収集し、それらを使って模擬保育や協同学習を行う。授業での制作物の一部は地域や学内の子育ての支援活動に活かす。

授業計画

- 1 領域「表現」のねらいと内容、乳幼児の造形表現の意義について
- 2 造形表現における乳幼児の発達と他領域との関連
- 3 情報機器、視聴覚教材の活用法及び保育指導案の構成と展開
- 4 地域や美術館との連携、小学校教育への接続
- 5 園行事やごっこ遊び、お話の世界と造形表現
- 6 様々な技法や身近な材料、自然物を使った楽しい造形表現
- 7 模擬保育の実践とカリキュラムマネジメント
- 8 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義と実習を中心とする。学修のまとめとして模擬保育を行い学び合いの機会をもつ。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①製作遊びの作品提出、ワークシート、収集した教材の提出、保育指導案の作成と実践を課題とする。講義においてフィードバックを行う。

- ②平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

テキスト

樋口一成『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』2018年（株）萌文書林

参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

留意事項

日頃の生活において身近な素材や自然に触れる経験を積み、感性を磨いたり、鑑賞する機会をもったりすること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（幼保）			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

教職の意義や教員（保育者）の役割を理解する。接続する学校教育や教員（保育者）をめぐる今日的な課題と対応の事例などから学校教育に期待される役割や、今後の教員（保育者）に求められる資質能力について学び自らの適性を見出す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

社会の急激な変化に伴い様々な課題に直面している学校教育や就学前教育の現状について詳述し、調査、発表の機会をもつ。チームとして諸課題に対応する学校の在り方や教員・保育士の職務内容、服務上や身分上の義務について理解し、自ら目指す教師・保育者像を明確にもつようにする。

授業計画

- 1 教職・保育者論の概要について
- 2 教職・保育職の意義
- 3 幼児教育と小学校教育
- 4 教員の歴史、女性と教職・保育職
- 5 学校園の組織と運営
- 6 教員（保育者）の職務内容
- 7 教員（保育者）に課せられる服務上・身分上の義務と身分保障
- 8 学び続ける教員（保育者）へ（教員・保育者のライフステージと研修制度）
- 9 国際化・情報化と教員（保育者）の役割
- 10 学校園における社会体験とキャリア教育
- 11 様々な問題行動とカウンセリングマインド
- 12 特別な支援を要する乳幼児への対応
- 13 チーム学校（園）の意義と実際について
- 14 今後の教員（保育者）に求められる資質・能力（専門職としての教員）
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。またワークシート他の作成により自己の考えを深め、知識の定着を図る。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題レポートの提出を2回求め、講義中にフィードバックを行う。
②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

古橋和夫（編）『新訂 教職入門 未来の教師に向けて』2018年（株）萌文書林

参考図書

秋田喜代美、佐藤学編著『新しい時代の教職入門』改訂版 有斐閣
アルマ、文部科学省『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』

留意事項

保育士資格と幼稚園教諭免許の併有による「保育教諭」としての社会要請も高まりつつある。教員・保育士を目指す養成校の学生として意識を高くもって授業に臨んでもらいたい。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育学原理			17617	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

幼児教育の意義や目的、歴史、今日の幼児教育の課題について理解する。また、幼児教育における「環境」「遊び」の意義や、幼稚園教育要領についての理解を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

幼児教育の意義や目的、歴史を学び、そのことを踏まえた上で、幼稚園教育要領を読み解く。幼児教育の実践の様子から、環境構成や遊びにつながる遊びの重要性や、課題を見出しディスカッションや発表を通して、関心を深めていく。

授業計画

- 1 幼児教育の意義
- 2 幼児教育の目的
- 3 子どもの発達と人間形成
- 4 子ども観・教育観の変遷
- 5 諸外国の教育の歴史
- 6 日本の教育の歴史
- 7 子どもの教育に関わる制度と仕組み
- 8 現代の教育課題①
- 9 現代の教育課題②
- 10 幼稚園教育の基本と役割
- 11 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- 12 幼児教育の内容・方法・計画と評価
- 13 多様な幼児教育実践から学ぶ①
- 14 多様な幼児教育実践から学ぶ②
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

参考資料を配布する。DVD視聴やディスカッション、発表を取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき減点1点

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』は保育者になる上で重要な資料となる。保育の概要を理解し保育者を目指す学生として自学自修に励むこと

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・言葉			17633	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

乳幼児期の言葉の発達の概要を理解する。言葉を獲得し思いを伝え合うようになるための環境や遊び、指導援助の方法について学ぶ。発達を理解し、生活の流れに即した教材選定力や保育指導案の作成力と実践力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

乳幼児の言葉の発達を詳説し、視聴覚教材を活用して、さらにイメージを確かなものにする。そして、言葉の育ちを促す絵本やお話の教材研究や、保育指導案作成と模擬保育を行う。また、発達に即した教材制作を通して言葉を育む環境を整え、乳幼児の豊かな言葉と言語活動を育てる保育を学ぶようにする。

授業計画

- 領域「言葉」について
- 乳幼児の言葉の育ちを支える要因
- 1歳未満児の発達と言葉の獲得
- 1歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 満1歳以上満3歳未満児の発達と言葉の獲得
- 満1歳以上満3歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 満3歳以上の幼児の発達と言葉の獲得
- 満3歳以上の幼児の言葉の発達を促す保育と教材
- 言葉の獲得において特別な支援を要する乳幼児への保育
- 豊かな言葉を育む児童文化（歌、手遊び、言葉遊び）（情報機器及び教材の活用を含む）
- 豊かな言葉を育む児童文化（絵本や紙芝居）
- 豊かな言葉を育む児童文化（人形劇やペープサート、パネルシアターやエプロンシアター等）
- 模擬保育実践とカリキュラムマネジメント
- 伝え合い分かり合う楽しい劇遊び（情報機器及び教材の活用を含む）
- まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、言葉を育む保育実践についての発表を加える。また、教材を制作し教育実習や保育実践にいかす。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題シートの提出を求め、模擬保育（乳児用・幼児用読み聞かせ指導案や教材の作成を含む）を行う。講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

岸井勇雄・無藤隆、湯川秀樹[監修]太田光洋[編著]『保育・教育ネオシリーズ20 保育内容・言葉 第三版』2018年（株）同文書院

参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

留意事項

保育の基礎技術を高めるため、わらべ歌や言葉遊び、絵本、幼児用テレビ番組などに日頃から親しんでおくこと。地域の図書館での企画展示やおはなし会などに関心をもち見ておくこと。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教学課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護Ⅰ			17639	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	2	児童養護施設職員			

授業の到達目標

社会的養護の理念、歴史、制度と実施体系等について理解する。社会的養護の背景にある社会や家庭における児童問題を学ぶとともに、社会的養護における児童の人権擁護と支援の実践について理解を深めることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

授業の概要

社会的養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習する。特に、社会的に子どもを養育する施設では、子どもと家族の育成に積極的にいかかわっていくための知見や技術が必要となっている。このため、（１）社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、（２）社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、（３）児童福祉施設などにおける養護の実践を理解し、児童観や施設養護観を身につける。

授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護トピックス
- 2 私たちが生きる社会
- 3 社会的養護の体系
- 4 施設への入所に至る経過
- 5 施設における生活①
- 6 施設における生活②
- 7 施設における生活③
- 8 施設における生活④
- 9 施設における支援—ライフストーリーワーク—
- 10 施設の利用方式
- 11 利用・契約制度を基本とする施設
- 12 社会的養護の歴史
- 13 施設における支援内容
- 14 里親制度
- 15 まとめ

授業の方法

講義を主とするが、必要に応じて視聴覚教材等で社会的養護の現状

について理解を深める。また、ディスカッションや発表を取り入れ双方向の授業を行う。

準備学修

日ごろから、現代の子どもを取り巻く環境に対して関心を深めておくこと。

課題・評価方法、その他

評価方法は、平常点30%、定期試験70%

欠席について

欠席以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

テキスト

原田旬哉・杉山宗尚 編著『図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅰ』明文書林、2018、ISBN 9784893472793

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法			17684	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校勤務。指導主事経験あり。 総合的な学習の時間では、国際理解のテーマで研究発表会も行う。			

授業の到達目標

教育課程の意義、法的根拠、外観を理解する。現行の教育課程編成の要点、配慮事項について、発表・討議を通して深めていく。
また、総合的な学習の時間の意義や目標、各小学校の目標に沿った指導計画の作成、授業づくり・指導法についてのポイントを明確にしていく。

KaiseiパーソナリティーのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

学校現場での具体的な教育課程、カリキュラム・マネジメントの進め方を伝えていく。法令や学習指導要領解説と学校現場の実践と成果（そこにある課題や悩み、子供たちの姿、地域の教育力）とをつないで学生の理解を図っていく。
また、総合的な学習の時間の指導法においては、目標に基づいた指導計画、単元計画の作り方、事例研究、指導案作りを進めていく。

授業計画

- 1 教育課程改定の経緯と基本原則
- 2 教育課程の基準
- 3 学習指導要領の改訂の変遷
- 4 特色ある教育の推進とカリキュラム・マネジメント
- 5 教育課程の編成
- 6 教育課程の授業改善
- 7 教育課程の改善と学校評価（教育課程におけるPDCA）
- 8 児童の発達支援（発達支援と個に応じた指導の充実）
- 9 道德教育推進上の配慮事項（豊かな体験活動、家庭・地域社会・学校間の連携）
- 10 総合的な学習の時間の歴史と目標
- 11 総合的な学習の時間の指導計画
- 12 総合的な学習の時間の実践と評価
- 13 総合的な学習の時間の指導の具体的事例に学ぶ
- 14 総合的な学習の時間の単元計画を作成する。
- 15 教育課程論と総合的な学習の時間の指導法の振り返り・定期試験

授業の方法

学生の発表・論述を大切に、そこから生まれる疑問について理解を深めていく。学校現場での具体的な実践を常にはさむことで、現

場での取り組みについて共感を深めていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題：与えられたテーマに対して自分の考え、感想を含めたプレゼン発表を行う。

評価方法：平常点50％ 定期試験50％

欠席について

欠席は1回につき4点減点。

テキスト

小学校学習指導要領解説（平成29年告示）「総則」「総合的な学習の時間」 文部科学省

参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育・教職実践演習（幼保）			17686	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

保育・教職課程科目の学修や学校園での現場学習等を通じて、保育士・教員として必要な資質能力が、実践力としてどのように統合されたかを最終的に確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

実習で学んだことを振り返り、保育力における自己の課題を確認するとともに保育者としての役割と責務についての認識を深める。職務への使命感、豊かな人間性や対人関係能力、また、学級経営能力や指導力の基礎を高め、保育者・教育者としての資質の向上を目指す。

授業計画

- 1 授業概要の説明、受講の心構え、これまでの学修の振り返り
- 2 保育・教職の意義や保育士・教員の役割、職務内容、子どもに対する責任
- 3 保育者の豊かな人間性と対人関係能力（職場、保護者・地域との人間関係の構築等）
- 4 幼児理解や学級経営
- 5 保育計画案・教材の作成
- 6 保育計画案・教材の発表
- 7 多様な保育・教育を考える①
- 8 多様な保育・教育を考える②
- 9 模擬保育と討議①
- 10 模擬保育と討議②
- 11 事例研究（ロールプレイと相互評価）①
- 12 事例研究（ロールプレイと相互評価）②
- 13 保育の現状と課題、社会の期待
- 14 保幼小の連携と実際
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説 平成30年3月』

参考図書

適宜、紹介する。

留意事項

自己目標・課題をもって意欲的に授業に臨むこと。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・環境			17721	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士			

授業の到達目標

近年の社会の変化にともなって、子どもを取り巻く様々な環境も従来とは変わり続けている。この現状をしっかり受け止め、子どもを取り巻く環境のあり方や保育者の役割を理解する。環境が成長過程に影響することが理解でき、その時期にふさわしい環境の構成あるいは環境の取り入れ方が分かるようになる。幼児に影響を与える人的環境としての保育者が大きな存在となることを踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

授業の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の領域「環境」に「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」と述べられている。子どもたちが園内外の“自然・文化・人・もの・事象・文字・記号”などに自ら触れ、生きる力を育む直接的体験を積み重ねられる環境を準備するために、保育者自身が様々な環境に対し興味や関心を持ち理解し、子どもの主体性を引き出す為にどのような環境づくりをしていけばいいのか、指導案作成と模擬保育等を通して、保育者自身も常に主体性を持って環境について学び、専門的な能力を身につけていけるようにする。

授業計画

- 1 保育と「環境」
- 2 領域「環境」とは
- 3 子どもの育ちと領域「環境」(DVD視聴「子どもを育む保育の環境」)
- 4 教室を出ての実体験とグループワーク
- 5 子どもを取り巻く自然環境
- 6 生き物とのかかわりに関する子どもの育ち (DVD視聴「動物を知る」)
- 7 子どもを取り巻く人的環境
- 8 子どもを取り巻く人的環境 (事例検討)
- 9 子どもを取り巻く物的環境
- 10 子どもの活動をひきだす保育環境 (数量・図形・文字・標識への興味と認識の育ち)
- 11 子どもの活動をひきだす保育環境 (教室を出て実体験、DVD視聴)

- 12 子どもを生きる力を育む環境
- 13 子どもを取り巻く社会的環境
- 14 環境を通した保育の内容・教材研究
- 15 子どもを守り育てる環境
- 16 気になる子どもと環境
- 17 環境を通した教育・保育の現在の課題 まとめ

授業の方法

講義を中心にし、内容に沿ったDVD視聴や事例の中から、グループで話し合ったり意見発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%。
レポートの提出や振り替えリテストなどについて講義の中でフィードバックを行う。

欠席について

欠席数は成績評価に反映する

テキスト

「保育内容 環境 あなたならどうしますか？」岡澤陽子、杉本裕子、平野麻衣子、松山洋平、山下文一、萌文書林

参考図書

保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説 フレーベル館
あそびうた大全集 永岡書店

留意事項

教室を出ての実体験等を含むので、授業計画が変更する可能性がある為、教務課前のボードをよく注意して見ておくこと

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育指導法			17725	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

幼児期の教育・保育の実践にあたり、基本となる教育内容の再認識と指導力の習得をめざす。この科目ではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

幼児期の教育の基本を再認識するとともに、視覚教材を通して、子どもの生活や遊びの具体について学ぶ。また教材研究と演習、指導案作成と模擬保育を通して、教師の役割について実践的な習得をめざす。

授業計画

- 1 幼児の生活と幼稚園の役割、幼児期の発達の特徴
- 2 領域「健康」と指導法①
- 3 領域「健康」と指導法②
- 4 領域「人間関係」と指導法①
- 5 領域「人間関係」と指導法②
- 6 領域「環境」と指導法①
- 7 領域「環境」と指導法②
- 8 領域「言葉」と指導法①
- 9 領域「言葉」と指導法②
- 10 領域「表現」と指導法①
- 11 領域「表現」と指導法②
- 12 子どもの遊びを見取り、保育を構想する
- 13 模擬保育とカリキュラムマネジメント①
- 14 模擬保育とカリキュラムマネジメント②
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

幼稚園生活の様子をDVDを視聴したり、フォトカンファレンスをしたりしながら学修を進める。また、教材作成、実技演習、グループディスカッションなどを通して、指導力の基礎を身に付ける。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①教材作成のもと指導案作成と模擬保育を行い、授業内で教員によるフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

参考図書

文部科学省『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社

留意事項

自分の得意分野をいかす教材作成や指導案作成・保育実践を自信をもって行うことを期待する

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。